

RNC・RSK・KSB ニュース「コロナ差別を考える」

5年生は、これまでの「コロナ差別」についての学びを、香川大学でいじめ問題を専門に研究されている金網知征先生といっしょに考える授業を行いました。

金網先生からは、次の事を学びました。

- ・ 怖いのは病気であってかかった人ではないこと
- ・ 患者や疑いのある人を攻撃しても感染予防にはならないこと
- ・ 正しい情報を広めて予防に努めること
- ・ コロナは正しく怖がること

また、仮に新型コロナウイルスに感染したら、友だちにはどんな声をかけてもらいたいのか、考えました。

「早く元気になってね。」「大変だったね。元気になってよかったね。」等、自分が言ってほしいことを考えれば良いことも学びました。

子どもたち自身の学びが、専門家の先生の助言を得てどのように深まっていくのか楽しみなところです。また今後、子どもたちはこの学びを「人権を考える会」で、全校生に、保護者に、そして地域へと発信していこうと意欲を高めています。



この日は、3社のテレビ局と1社の新聞社の取材がありました。感染症対策の為、各社とも廊下から取材していただきました。

